

2025年4月28日  
日本原子力発電株式会社

東海低レベル放射性廃棄物埋設事業所 第二種廃棄物埋設事業許可申請に係る指摘事項管理表

管理番号	コメント 対応状況	ヒアリング/ 審査会合	対象条文等	指摘事項				
				資料番号	発生日	指摘内容	回答日	回答資料
1	回答済	審査会合	十三条（設計）	資料1	24/9/9	操業中の雨水浸入対策として、「雨水防止テント」、「表面遮水」、「雨養生」の3点セットで対応すると認識しているが、これらについて、「期待する機能は何か」、「期待する機能を満足するための設計、材料選定、建設・施工、検査をどのようにするのか」を整理した上で説明すること。また、劣化・損傷に対する点検や交換の具体についても整理の上説明すること。	12/26審査会合にて回答	資料9
2	回答済	審査会合	八条	資料1	24/9/9	操業中の安全対策について、荒天時や異常時が発生した場合の作業中止、中断判断をどのようにするのか整理の上説明すること。	12/26審査会合にて回答	資料5-1
3	回答済	審査会合	三条	資料1	24/9/9	地盤の支持力の判定結果、液状化判定の妥当性、地盤の沈下量に関する評価結果の妥当性について整理の上説明すること。	3/10審査会合にて回答	資料1-1 資料1-2
4	回答済	審査会合	四条	資料1	24/9/9	遮水シートのすべり安定性の妥当性について説明すること。説明に当たっては、遮水シート設置に当たって準拠した設計手法、採用した設計手法に基づきどいった仕様・設計により設置することにしたのかを含めて説明すること。	12/26審査会合にて回答	資料1
5	回答済	審査会合	五条	資料1	24/9/9	既往知見を踏まえて改めてシミュレーションしたところ、津波が到達しない結果となっている。なぜ津波が到達するおそれがない結果となったか、その要因と今回の結果の妥当性を説明すること。説明に当たっては、津波シミュレーションに用いた評価条件の変更点、妥当性を説明するとともに、追加した盛土地形などの情報を示した上で前回のシミュレーション結果と対比する形で説明すること。	12/26審査会合にて回答	資料2
6	回答済	審査会合	六条	資料1	24/9/9	他事業所の審査実績との整合性を確認するため、他事業所との比較ができる資料を整理すること。	12/26審査会合にて回答	参考資料3-2
7	回答済	審査会合	六条	資料1	24/9/9	外部事象選定の判断根拠、影響評価の妥当性について説明すること。	12/26審査会合にて回答	資料3 参考資料3-2

東海低レベル放射性廃棄物埋設事業所 第二種廃棄物埋設事業許可申請に係る指摘事項管理表

管理番号	コメント対応状況	ヒアリング／審査会合	対象条文等	指摘事項				
				資料番号	発生日	指摘内容	回答日	回答資料
8	回答済	審査会合	七条	資料1	24/9/9	火災等発生防止の具体的な対策内容について、説明すること。	12/26審査会合にて回答	資料4
9	回答済	審査会合	その他	資料1	24/9/9	表面線量当量率が10μSv/hを超える放射性廃棄物を1段目に確実に定置するためのプロセスを説明すること。説明に当たっては、放射性廃棄物発生から受入れまでの流れを体系的に説明するとともに、WACに関する内容も含めて説明すること。	12/26審査会合にて回答	資料5-2
10	回答済	審査会合	その他	資料1	24/9/9	除染については、試験データを含めて確認したいため、資料準備すること。	12/26審査会合にて回答	資料5-2
11	回答済	審査会合	十三条（評価）	資料1	24/9/9	安全評価における遮水シートの劣化要因、劣化モード、劣化期間、解析上の損傷モデルをどのように整理したのか説明すること。説明に当たっては、解析コード（HELP）の特徴を説明するとともに、パラメータの与え方などを整理の上説明すること。	10/28審査会合にて回答	資料1-1 資料1-2
12	回答済	審査会合	十三条（評価）	資料1	24/9/9	浸透流解析について、設計変更した覆土の各構成材料の性能と解析条件及び解析結果の妥当性を整理した上で説明すること。	10/28審査会合にて回答	資料1-1 資料1-2
13	回答済	審査会合	十三条（評価）	資料1	24/9/9	トレンチ処分施設は地表に近く、擾乱を受けやすい施設。また、線量評価結果では、最も可能性が高いシナリオ、最も厳しいシナリオともに数十年ぐらいのところで線量ピークが出ている。そういった関係の中で、1,000後の状態設定として一括で設定することの妥当性、具体的には地表からの擾乱によるパラメータの不確実性や評価期間の妥当性について説明すること。	10/28審査会合にて回答	資料1-1 資料1-2
14	回答済	審査会合	十五条	資料1	24/9/9	年間浸透水量を監視するため、類似環境下での原位置試験を行うとしているが、年間浸透水量は非常に少ないことが考えられる。年間浸透水量をどのように計測するのか説明すること。	12/26審査会合にて回答	資料7
15	回答済	審査会合	経理的基礎	資料1	24/9/9	当初申請では全額自己資金により充当する計画としていたが、今回の補正では「原子力発電における使用済燃料の再処理等の実施及び廃炉の推進に関する法律」に基づいて使用済燃料再処理・廃炉推進機構から費用が支払われる形になったと理解している。この変更点について説明すること。	3/10審査会合にて回答	資料5

東海低レベル放射性廃棄物埋設事業所 第二種廃棄物埋設事業許可申請に係る指摘事項管理表

管理番号	コメント 対応状況	ヒアリング/ 審査会合	対象条文等	指摘事項				
				資料番号	発生日	指摘内容	回答日	回答資料
16	回答済	審査会合	技術的能力	資料1	24/9/9	「原子力事業者の技術的能力に関する審査指針」との対応関係について説明すること。	3/10審査会合にて回答	資料6
17	回答済	審査会合	品質保証	資料1	24/9/9	「原子力施設の保安のための業務に係る品質管理に必要な体制の基準に関する規則」との対応関係について説明すること。	3/10審査会合にて回答	資料7-1 資料7-2
18	回答済	審査会合	十三条（設計）	資料1	24/9/9	施設確認上、重要な覆土設計に特化してもらって構わないが、許可と後段規制との関係をどう考えているのか、全体的な話を整理し説明すること。	12/26審査会合にて回答	資料9
19	回答済	審査会合	その他	資料1	24/9/9	品質管理項目（案）の位置付けをはっきりさせること。また、管理値の大半が「-」となっているが、許可段階でFIXできるもの、できないものは識別した上でFIXできないものはどのような考え方で設定するのか方針を示すこと。	12/26審査会合にて回答	資料10
20	回答済	審査会合	その他	資料1	24/9/9	品質管理項目が羅列されているが、一つ一つのプロセスを後段規制で確認しないといけないのか判断する上で、一連のプロセスを説明するとともに、最終的な性能を出す上でマストなのかどうか全体の関係性を整理の上説明すること。	12/26審査会合にて回答	資料9 資料10
21	回答済	審査会合	十三条（評価）	資料1-1	24/10/28	放射性廃棄物に含まれる放射性物質（ウラン廃棄物関係）に関する基準適合性の記述が申請書に記載がないため、適合性が確認できない状態にある。このため、申請書のどこに記載するか整理した上で、この基準適合性が分かるように申請書に記載すること。	補正申請に反映	
22	回答済	審査会合	十三条（評価）	資料1-1	24/10/28	側部低透水性覆土については、コンクリート廃棄物と雨水等との接触によって発生する高アルカリ性の間隙水が接触することはないと断定した記載となっているため、可能性を考慮して、表現を修正すること。	12/26審査会合にて回答	資料9
23	回答済	審査会合	十三条（設計）	資料1-1	24/10/28	漏出低減機能をサポートする機能（植生、保護土層、フィルタ層、排水層）について、申請書添付書類五の第5.4.2-1表では「-」としているが、これらは漏出低減機能を補助する役割があると考えられるため、記載方法について再整理すること。	12/26審査会合にて回答	資料9
24	回答済	審査会合	十三条（評価）	資料1-1	24/10/28	状態設定や線量評価パラメーターの設定において、データが元々持っている不確かさをどのように扱って整理したのか、有効数字の考え方を踏まえて示すこと。	まとめ資料に反映	

東海低レベル放射性廃棄物埋設事業所 第二種廃棄物埋設事業許可申請に係る指摘事項管理表

管理番号	コメント 対応状況	ヒアリング/ 審査会合	対象条文等	指摘事項				
				資料番号	発生日	指摘内容	回答日	回答資料
25	対応中	審査会合	十三条（評価）	資料1-1	24/10/28	影響事象分析における影響因子の設定に当たって、検討した結果として影響がないとした事象の根拠が申請書に記載されていないものがあるため、申請書に反映すること。この際、申請書とまとめ資料にどう書き分けるのか整理すること。	補正申請に反映	
26	対応中	審査会合	十三条（評価）	資料1-1	24/10/28	「C4：バリア材料中でのコロイド生成」について、ベントナイトコロイドのみ言及しているが、天然バリア中のコロイドによる影響も考えられるものの、その考察がないため、説明を拡充すること。また、その他の事象についても説明しきれているかどうか確認し、説明すること。	今回回答	資料1
27	回答済	審査会合	十三条（設計）	資料1-1	24/10/28	浸透流解析モデルでは基盤材が設定されているが、廃棄物埋設地の設計では言及されていない。基盤材が廃棄物埋設地の成立性に関わるものであれば、基盤材に関する記載を廃棄物埋設地の設計にも反映すること。	12/26審査会合にて回答	資料9
28	回答済	審査会合	十三条（評価）	資料1-1	24/10/28	長期的に遮水シートが劣化した状態においても、地すべりによる安全機能へ影響がないことを資料に反映し説明すること。	まとめ資料に反映	
29	回答済	審査会合	十三条（評価）	資料1-1	24/10/28	HELPコードマニュアルでは、遮水シートの換算透水係数を20℃から15℃に補正しているが、本施設の低透水性覆土の透水係数は15℃に補正された数値を用いているため、温度補正は不要。したがって、換算透水係数の設定を見直した上で資料に反映すること。	まとめ資料に反映	
30	回答済	審査会合	十三条（評価）	資料1-1	24/10/28	浸透流解析における比透水係数の下限値を $1 \times 10^{-5}$ で設定しているが、その考え方を資料に反映し説明すること。	まとめ資料に反映	
31	対応中	審査会合	十三条（評価）	資料1-1	24/10/28	地質環境等の状態設定における「日本の海成段丘アトラスから算出した隆起速度」については、鉛直変動量としてプロットしているが、これにはエラーバーがつくはずであるため、エラーバーを含めても本図が合理的であることを説明すること。	今回回答	資料1

東海低レベル放射性廃棄物埋設事業所 第二種廃棄物埋設事業許可申請に係る指摘事項管理表

管理番号	コメント 対応状況	ヒアリング/ 審査会合	対象条文等	指摘事項				
				資料番号	発生日	指摘内容	回答日	回答資料
32	対応中	審査会合	十三条（評価）	資料1-1	24/10/28	「C 2：廃棄物層の金属腐食（放射性廃棄物と浸透水の反応）」は、一般的に還元性になれば吸着は大きくなる傾向にあるということであるが、基本的に考慮されている核種は、ほとんど酸化還元にセンシティブではなく、そうでない場合も存在するかもしれないため、確認すること。	今回回答	資料1
33	対応中	審査会合	十三条（評価）	資料1-1	24/10/28	吸着分配係数を測定する際のコロイドの影響については、コロイドが分散している場合は限外濾過をするか、超遠心をかけて分けることで固相に対しての核種の吸着が分かるが、コロイドの影響はこの段階で見えていない。コロイドの影響は、コロイドの表面の構造や、組成そのものが固相と違う場合があるため、この場合、吸着分配係数は違ってくる。このため、コロイドに対しての吸着分配係数がどれだけであるかというものを評価・想定して、両方が共存するときどうなるかというのを見ないといけないが、そこまで検討した上で試験していることを確認すること。	今回回答	資料1
34	対応中	審査会合	十三条（評価）	資料1-1	24/10/28	原子力学会標準に従って吸着分配係数を取得していると思うが、原子力学会標準では0.45 $\mu$ mの空隙のフィルタの使用やコロイドの影響を確認する際は限外濾過している。一般的にフィルタや限外濾過する場合、フィルタの上に吸着することで、吸着分配係数が大きくなるため、非安全側となりリスクがあることから研究機関では使わない。研究では遠心分離や超遠心が増えているかもしれないため、実際の測定方法を確認すること。	今回回答	資料1
35	対応中	審査会合	十三条（評価）	資料1-1	24/10/28	70ページに記載の吸着分配係数は単位を記載していないため、どういう大きさが分からない。また、有効数字の数字が3か1しかないため、なぜ3か1しかないのかが分からない。これに限った話ではないが、生データまでさかのぼって確認すること。	今回回答	資料1
36	対応中	審査会合	十三条（評価）	資料1-1	24/10/28	吸着分配係数のうち全 $\alpha$ の設定値はAmで取得している。一般的にAmとEuの吸着分配係数は、ほぼ近い値になると思っているが、本設定は3倍違っているため、この理由を説明すること。	今回回答	資料1

東海低レベル放射性廃棄物埋設事業所 第二種廃棄物埋設事業許可申請に係る指摘事項管理表

管理番号	コメント 対応状況	ヒアリング/ 審査会合	対象条文等	指摘事項				
				資料番号	発生日	指摘内容	回答日	回答資料
37	対応中	審査会合	十三条（評価）	資料1-1	24/10/28	収着分配係数の設定値について、最も厳しい自然事象シナリオの設定値では廃棄物埋設地内土砂は1桁小さくしているのに対し、通気層土砂・帯水層土砂は2桁小さくしている。最も可能性が高い設定値はおそらく平均値を用いていると思うが、最も厳しい設定値は、極端に言えば0にすることもあり得る中で、こういう設定をすることの合理性を資料に記載すること。	今回回答	資料1
38	対応中	審査会合	十三条（評価）	資料1-1	24/10/28	有機物や微生物の影響について、微生物の場合、C-14しか考えられていないが、なぜC-14だけなのか。例えばAmは微生物に付着しないのかも含めて少し気になっているため、詳細を説明すること。	今回回答	資料1
39	対応中	審査会合	十三条（設計）	資料9	24/12/26	申請対象設備のうちどこまでを許可の範囲として、どこまでを後段規制とするのか、低透水性覆土以外の設備（表面遮水、植生など）についても整理すること。テントや雨養生は確認申請には入らないということだと思うが、後段規制を見据えて申請者と規制側の認識が合うように整理すること。	今回回答	資料1
40	対応中	審査会合	八条	資料5-1	24/12/26	スカイシャインガンマ線の評価において、Co-60のガンマ線のエネルギーは平均値を使用しているが、平均値を採用することはこういう分野では一般的なのか。	今回回答	資料1
41	対応中	審査会合	三条	資料1-1	25/3/10	地盤の変形による廃棄物埋設地の安全機能への影響評価について、廃棄物埋設地の安全機能を担う中間覆土（遮蔽機能）や表面遮水（漏出低減機能）の位置付けを整理して説明すること	今回回答	資料1
42	回答済	審査会合	三条	資料1-1	25/3/10	地盤の変形に対する影響評価について、評価基準である「廃棄物の底面が地下水位以下にならないこと」と廃棄物埋設地の安全機能の関係性を整理して説明すること。	まとめ資料に反映	
43	対応中	審査会合	技術的能力	資料6	25/3/10	技術的能力指針に基づく各項目について、許可段階で確認しなければいけない内容と後段規制である保安規定段階で確認するものについて、整理して説明すること。	今回回答	資料1
44	回答済	審査会合	技術的能力	資料6	25/3/10	本施設に関する技術的能力を説明する上でのエビデンスについて、発電所側のまとめ資料を確認の上、まとめ資料に追加すること。	まとめ資料に反映	